



渡邊昌彦氏

ベテラン医療ジャーナリストの自分がかかりたい名医

「人間力」がある 専門医91人



長田氏

鳥集氏

おさだ だ しょうじ とりだまり とおる
長田昭二×鳥集徹
医療ジャーナリスト
ジャーナリスト

技術はもちろん、
人としても優れた
医師を紹介する

長田 鳥集さんは知り合いの方から「いい医師を紹介して欲しい」と頼まれることはありませんか。

鳥集 多いですね。二十年以上もこの仕事を続けてきて、沢山の先生に会っているのですが、いい医師の知り合いは多いかもしれません。でも、だからこそ悩みますよね。

長田 そうなんです。私は夕刊フジで十七年間、名医紹介の連載をしていることもあって、これまでその

欄だけでも約八百人の医師に取材で会ってきました。

鳥集さんが最先端の分野をよく取材されてきたのに比べ、私はどちらかといえば市井のプライマリ・ケア（患者が最初に受ける総合的な医療）の先生の取材が多いのですが、その多くは世間で「名医」と言われている先生方。ただ、患者の病気の専門分野の名医なら、誰を紹介してもいいというわけでもないですね。

から水をピュッと出して卑猥なことを言ったので、びっくりしました。医者である前に人としてどうなのかという方は、いくら腕がよくても紹介できません。なにより、仮に自分が患者だとしたら、そんな医者にはかかりたくありません。

長田 私も医師を紹介する際に重視しているのは、技術はもちろんのこと、その方の「人間性」です。

ただ、これまで「名医」を紹介する際の物差しは、基本的に技術と症例数一辺倒でした。例えば「この先生は腹腔鏡手術が上手い」、「あの先生は脳腫瘍の専門家だ」と、それぞれの得意分野だけを取り上げてきているわけではありませんが、もしそこに「人間力」という物差しを入れてみたらどうなるのだろうか。それがこの企画の出発点でした。

鳥集 どんな名医でもいい結果に

繋がらないことがあります。そうやってしまったときに患者が「この先生でダメなら仕方ない」と思えたり、失敗しても患者から逃げずに説明してくれるような医者なら、大きなト

ラブルにはならないと思うんです。以前、私が医者や病院の選び方について講演をしたときに、「すごく優しくて患者思いだけど腕がそこそこの先生と、ブラックジャックみたいに腕はものすごいけど愛想は悪い先生と、どちらがいいか」と尋ねたところ、会場の反応は半々でした。

技術と「人間力」のバランスはとも難しい。いままでお会いした沢山の名医の中から、どの先生を選ぶのか、本当に悩みました。リストに挙がっていないなくても、昔取材した方の中にも、いい先生がいたはずですし……。今回は記憶に新しい方の中から、医師としての技術に定評があるだけでなく、さらに人間性を重視

して選ばせてもらいました。

長田 私も、読者の皆さんが診てもらっても後悔しない方かと思いがら選びました。

「人間力」の第一条件

鳥集 互いに持ち寄ったリストを眺めてみると、揃って名前を挙げたのは、広島大学病院呼吸器外科の岡田守人さんと、日本大学医学部消化器内科の後藤田卓志さんの二人だけですね。

長田 そうですね。もっと重なるものかと思っていました。

鳥集 ただ長田さんが挙げたお名前の中にも、「確かに」と思う方が少なくありませんでした。

最大の問題は「人間力」をどう定義するか。長田さんは、医者にとつて必要な「人間力」とは何だと考えていますか？

91人の“人間力”のある名医

専門分野	名前	所属	推薦コメント	選者
肺がん	岩田尚	岐阜大学医学部 附属病院	ロボット手術の積極導入で好成績。県内各地での出張手術にも応じ、岐阜の医療水準向上に尽力	長田
	岡田守人	広島大学病院	肺がんのハイブリッド手術を確立。若手時代から手術の名手として頭角を現したが、決して偉ぶらない	鳥集
	同上	同上	日本を代表する胸部外科医。阪神大震災と米同時多発テロに遭遇し、「常に楽天的であろう」と自らに課す	長田
	鈴木健司	順天堂大学医学部 附属順天堂医院	合併症を抱えるハイリスク患者の肺がん手術に挑む。ハイボリュームセンターとして、若手育成にも熱心	鳥集
	伊達洋至	京都大学医学部 附属病院	日本で初めて生体肺移植に成功した。他の病院では難しい進行肺がんの手術に取り組む	鳥集
	渡辺俊一	国立がん研究 センター中央病院	国内最多の肺がん手術症例数を手がけるも、謙虚な人柄で、熱心に取材にも応じてくれた	鳥集
胃がん	福永哲	順天堂大学医学部 附属順天堂医院	腹腔鏡手術の黎明期、若手時代から胃がん手術に取り組む。鹿児島島の離島出身で親しみやすい	鳥集
大腸がん	上野雅資	がん研有明病院	大腸がん手術件数国内年間トップ。腹腔鏡手術の名手。冷静沈着な人柄で、丁寧に正確な手術を実現	長田
	上原圭介	名古屋大学医学部 附属病院	次代を担う大腸外科医の一人。クオリティの高い手術で、妥協しない姿勢に好感が持てる	鳥集
	大塚幸喜	岩手医科大学 附属病院	大腸がん腹腔鏡手術の腕だけでなく、教育者としての姿勢も多くの外科医から高く評価されている	鳥集
	奥田準二	大阪医科大学 附属病院	腹腔鏡手術の黎明期から関西の大腸がん手術をリード。最新技術で難易度の高い手術に挑む	鳥集
	長谷川傑	福岡大学病院	京大消化管外科で腕を磨き、福岡大学教授に就任。謙虚な人柄で九州の大腸外科を担う	鳥集
	渡邊昌彦	北里大学病院	日本で初めての腹腔鏡による大腸がん手術を執刀。患者にやさしい手術を探究してきた	鳥集
	食道がん	大杉治司	東京女子医科 大学病院	食道がんの胸腔鏡手術を確立。自己研鑽を怠らないスーパードクターだが、関西出身で親しみやすい
白川靖博		岡山大学病院	手術で評価されるだけでなく、看護師など医療スタッフの仕事を尊重する姿勢に好感が持てる	鳥集

長田 まずは「コミュニケーション能力」でしょうね。患者の話を中心に聞き取り、治療について上手に説明できるかどうかの能力は医師によって大きな差がある。

例えば取材のときに専門用語を乱発する人。わかりやすい言葉に置き換えて原稿を書いてもチェックの時に、難しい言葉や格調高い表現に戻してくる。相手に理解してもらおうという意識が低いんですね。

鳥集 「もしかして患者にも同じ調子なのだろうか」と思うとぞっとしますよね。患者にいかかわかりやすく伝えられるか、それが名医の一つの条件だと私も思います。

長田 その点、岡田さんの説明は本当にわかりやすい。要点をきちんと、要領よく話をしてくださるので、取材も三十〜四十分ぐらいで終わってしまう。せっかく広島に来たのだから、もう少しゆっくりうかが

いたいと思うぐらい(笑)。

鳥集 頭のいい先生はこちらの質問の意図を、一瞬で正確に汲み取ってくれますよね。それは患者相手でもそう。医療の世界は年々、高度になっっている。素人の患者がすべては理解できない。だからといって「どうぞお前たちにはわからない」と、最初から説明を放棄してしまうのは「人間力」が低い証拠です。

長田 難しい言葉でまくし立てられたら、患者も質問する勇気が出ないでしょう。医師が忙しくて機嫌悪そうにしていたらなおさらです。結果、胸に何かモヤモヤしたものを抱えたまま、治療を受けなければならなくなってしまう。後々、トラブルの火種になりかねない。

鳥集 患者と信頼関係ができていないと、万が一医療事故が起こったとき、患者も疑心暗鬼になってしまいうし、「何か隠しているんじゃない

か」と疑ってしまう。最終的に訴訟になってしまいかもしれません。これは双方にとって不幸なことです。

偏差値と能力の関係

長田 名医と呼ばれる先生方の中にも、一般社会に馴染めないだろうなあと感じてしまう方もいますね。それに対して取材に行ったとき、

「雑誌ってどうやって作るの?」とか「医者以外だとどんな人に会った?」と聞いてくる先生もいます。医療界以外の情報を知りたいんですね。そういった積極的に外の世界と交流を持つとする先生は、みなさんコミュニケーションが上手。

鳥集 同感です。リストに挙げた中には有名大学を卒業した先生もいますが、高学歴は必ずしも必要条件ではありません。受験の偏差値と医者としての能力は、経験的にあまり

専門分野	名前	所属	推薦コメント	選者
食道がん	瀬戸泰之	東京大学医学部 附属病院	手術で高い知名度を誇る。自分の手柄よりチームとしての評価を優先。誠実な人柄で人望も厚い	長田
	大幸宏幸	国立がん研究 センター中央病院	これからの日本の食道外科を担う逸材。質の高い手術だけでなく、患者の社会復帰を第一目標とする	鳥集
肝胆膵がん	上坂克彦	県立静岡がん センター	肝胆膵の手術だけでなく、薬物療法も駆使して、膵がん患者などの生存期間延長に取り組む	鳥集
	江畑智希	名古屋大学医学部 附属病院	中京地区の肝胆膵外科の次代を担うホープ。にもかかわらず、とても明るく親しみやすい人柄	鳥集
	金沢景繁	大阪市立総合 医療センター	関西の肝胆膵の腹腔鏡手術の第一人者だが、腹腔鏡に固執せず、安全を最優先した術式選択に徹する	長田
	国土典宏	国立国際医療研究 センター病院	東大肝胆膵外科教授から同センター理事長に転身するも、現役医師として手術に挑み続ける	鳥集
	棚野正人	名古屋大学医学部 附属病院	高難度である肝門部胆管がんの手術で世界的な実績を誇るが、決して偉ぶることがない	鳥集
	本田五郎	都立駒込病院	日本の外科医不足に危機感を覚え、独自のカリキュラムによる若手外科医の育成に取り組む	長田
	山本順司	新東京病院	東大、国立がんセンターで肝胆膵外科医として腕を磨く。謙虚な人柄で、地域医療を支える	鳥集
前立腺がん	上村博司	横浜市立大学附属 市民総合医療センター	前立腺がんの新薬治験に積極的に取り組む。剣道の有段者でもあり、冷静さと落ち着きを持つ	長田
	鈴木啓悦	東邦大学医療 センター佐倉病院	前立腺がんの様々な治療法を、絶妙に組み合わせで最高の結果を追求する。新薬開発にも尽力	長田
	小路直	東海大学医学部 付属八王子病院	高密度焦点式超音波療法「HIFU」の先駆者。混雑する外来でも患者との丁寧な対話姿勢を崩さない	長田
	堀江重郎	順天堂大学医学部 附属順天堂医院	前立腺がんのロボット手術を積極的に推進。男性更年期障害（LOH症候群）の診断、治療にも力を入れる	長田
希少皮膚がん	山崎直也	国立がん研究 センター中央病院	治療法の乏しい領域で、新薬開発や術式改良に取り組む。豊富な実績にもかかわらず謙虚な姿勢を堅持	長田
乳がん	上尾裕昭	うえお乳腺外科	開業医でありながら、大分でトップレベルの乳がん医療を実践。患者の不安を取り除く環境を提供する	鳥集
	大野真司	がん研有明病院	九州がんセンターから移る際、九州の関係者が惜しんだほど、乳腺外科のリーダーとして慕われている	鳥集

相関しないように思います。コミュニケーション能力もわかり。

長田 ただ、コミュニケーションというものは、片方がその能力を持っているだけでも、相手にその気がなければバランスが取れません。患者の側も権利を主張するだけでなく、謙虚になることが大事だと僕は思っています。医師だって人間ですから、無闇に高圧的な患者とは距離を置きたくなる。コミュニケーションって、お互いがほんの少し謙虚になるだけでスムーズになる。病を抱えた身で遠慮をする必要はありませんが、「治して当然」という態度をとることは、決して得策ではない。少なくとも僕がリストに挙げた先生方は、みなさん謙虚な先生方です。

話術のプロたち

鳥集 僕は医者で紹介で医者にか

いに行くという取材スタイルでやってきました。そうやって出会う町場のクリニックの先生方のコミュニケーション能力の高さにも、いつも感心してきました。白髭内科医院の白髭豊さんもそうですが、在宅医療で名医とされる人たちは、必ず患者を触りながら診察している。往診についていくと、背中をさすってあげながら、お年寄りの話を聞いてあげている。たったそれだけのことですが、患者や家族は安心する。まさに「手当て」をしているんですね。

長田 東京の大森でお父さんの代から在宅診療をしている鈴木内科医師の鈴木央さんは、診察の時には必ず膝を突いて、腰を曲げて、視線を患者と同じ高さにして、寄り添うようにして診療をしています。

馬鹿になれる方です。「僕の方が〇さんより物忘れが激しいよ」とか、いつも冗談ばかり言っている。馬鹿になるというのは難しいハズなのに、どの患者の前でも、いとも簡単にそれをやってのけている。

長田 素晴らしい。それもコミュニケーション能力です。

鳥集 これは個人的な感想ですが、地方の病院に行くと、「いい人だなあ」と思う先生が多い。例えば三重大学病院産科婦人科の田畑務さん。失礼ながら地方の三重には取材に行くことが少ないのですが、本当に親しみやすい方でした。

長田 地域によって、医師の性格も変わるような気がしますね。例えば東京と大阪では患者の気質が違うから、求められる医師も違ってくるのではないのでしょうか。

東京は温厚な先生が多いですよ。がん研有明病院大腸外科の上野

専門分野	名前	所属	推薦コメント	選者
乳がん	高橋将人	北海道がんセンター	全国トップレベルの乳がん診療を提供。世界レベルの臨床試験などにも積極的に参加している	鳥集
	田中真紀	JCHO久留米総合病院	いち早く女性外来を開設。乳腺外科医としてスタッフを大切に、院長にまでなった魅力ある女性医師	鳥集
	津川浩一郎	聖マリアンナ医科大学病院	小田急線・東急田園都市線沿線の乳がん診療を担う。乳がんの再発・転移患者も見放さない	鳥集
	長谷川善枝	弘前市立病院	弘前の地にありながら、全国の乳腺外科医から仕事ぶりや人柄のよさが高く評価されている	鳥集
婦人科がん	安藤正明	倉敷成人病センター	懐疑的な風潮があった中、黎明期から婦人科疾患の腹腔鏡手術に取り組んできた気骨ある医師	鳥集
	田畑務	三重大学医学部附属病院	地方の医師らしく親しみやすい人柄だが、トップレベルの診療を目指し、婦人科手術の本も出版	鳥集
	平嶋泰之	県立静岡がんセンター	最高レベルであるだけでなく、本人が納得できる婦人科診療を提供する。患者思いが伝わる人柄	鳥集
乳房再建	岩平佳子	プレストサージャークリニック	「ブラック・ジャック」に憧れて、乳房再建手術の第一人者に。女性の気持ちに寄り添う医療を提供	鳥集
	水野博司	順天堂大学医学部附属順天堂医院	「乳房再建術」の権威。単に再建するだけでなく、不自然さのない美しい乳房再建を追求する	長田
	矢永博子	矢永クリニック	国内でいち早く、乳房再建手術に取り組んだ一人。九州の乳腺外科医たちからの信頼も厚い	鳥集
心臓血管障害	小林順二郎	国立循環器病研究センター病院	有数の心臓病専門病院のトップながら、柔和な笑顔とざっばらんな語り口で患者の緊張を解きほぐす	長田
	高梨秀一郎	榊原記念病院	心臓外科のスーパードクター。毎回、自分の手術を振り返り、クオリティの向上・維持に努める	鳥集
	田鎖治	大森赤十字病院	心臓弁膜症など高齢者に多い心臓疾患の手術が得意。明るい人柄で、筆者の重要なネタ元の一人	長田
脳血管障害	北原茂実	北原国際病院	「あの病院に行けば何とかしてくれる」の理念で、医療技術の輸出を行なう。カンボジアでも医療を展開	長田
	河野道宏	東京医科大学病院	脳神経腫瘍摘出手術の第一人者。術後、患者の不安を取り除くために、病室にも足を運ぶ	鳥集
小児心臓疾患	芳村直樹	富山大学附属病院	国内でも数少ない「小児循環器外科」のスペシャリスト。地方離れが進む若手外科医の育成にも力を入れる	長田
変形膝関節症	桑沢綾乃	埼玉協同病院	人工膝関節置換術で女性医師では国内首位の症例数。きめ細やかな対応で多くの患者の支持を得る	長田

雅資さんや東京大学病院胃・食道外科の瀬戸泰之さんはいつも穏やか。上野さんに「怒ることってあるんですか？」と尋ねたら、「部下が同じミスを繰り返したら多少は厳しくする」と言っていました……。
鳥集 いまは東京女子医大に移りました。大阪府立大学病院にいた大杉治司さんは食道外科の名医なのに、いわゆる「大阪のおっちゃん」。大阪市立大学病院は天王寺にあり、その近くにはあいりん地区や飛田新地もある。だからかしこまっていたら治療なんて出来ない。

長田 網走厚生病院呼吸器科の鈴木夕子さんも昔、大阪厚生年金病院（現・JCHO大阪病院）にいた方です。オホーツク海沿岸の漁師さんと結婚して網走の病院に移りましたが、とにかく明るくて一回の診療で一回は必ず笑いをとらないといけないと考えている（笑）。こんな先生

をかかりつけ医に持つ患者さんは幸せでしょうね。
「患者ファースト」の哲学
長田 「人間力」の物差しは他にもありそうですね。
鳥集 二番目に挙げるとしたら「患者ファースト」ですかね。やろうとしている治療が、本当に患者のためになるのか。それを突き詰めて考えることができる医師は信頼できると言えます。
がん手術を例にとつて考えてみると、患者にとつて一番大事なのは「安全性」です。手術で命を失ってしまったら、元も子もありません。次に大切なのが、「根治性」を高めること。がんを極力取り残さず、再発させない。そして最後に大事なのが「低侵襲」。すなわち傷が小さいなど、患者に優しい手術をすること

専門分野	名前	所属	推薦コメント	選者
変形膝関節症	丸毛啓史	東京慈恵会医科大学附属病院	変形性膝関節症に対し、3Dプリンターで作った「ガイド」を使い、精度の高い人工膝関節置換術を実現	長田
変形股関節症	仁平高太郎	埼玉協同病院	人工股関節置換術の名手。最小侵襲手術や3Dプリンターを使った高機能手術の症例数も多い	長田
膝痛	戸田佳孝	戸田整形外科リウマチ科クリニック	手術せずに治すひざ治療に取り組んでいる。偉ぶらず、謙虚で、親しみやすい関西人	鳥集
外科全般	渡部和巨	東京西徳洲会病院	脳・心臓以外のあらゆる臓器の手術に対応する。「神の手はいらない。普通の医療を確実に」が持論	長田
内視鏡治療	大園研	NTT東日本関東病院	他では不可能とされる症例の手術を、内視鏡で安全に遂行する。「大園組」出身の弟子たちが全国に散って活躍	長田
	小野裕之	県立静岡がんセンター	内視鏡による胃がん治療(ESD)の第一人者。テクニクもさることながら、人あたりが柔らかい	鳥集
	後藤田卓志	日本大学病院	小野医師とともに国立がんセンターでESDに取り組んでいた。決して偉ぶらず、熱心に取材に応じてくれる	鳥集
	同上	同上	内視鏡治療の分野で国際的知名度を持つ。費用対効果を念頭に置き、バランス感覚に優れた医療を展開	長田
内視鏡検査	渡辺七六	渡辺七六クリニック	過去に何人かの医師の内視鏡検査を受けたが、圧倒的な技術力の高さを持つ。快適な無痛検査を実現	長田
腫瘍内科	勝俣範之	日本医科大学武蔵小杉病院	EBM(科学的根拠に基づく医療)の立場から、非科学的ながん医療を批判。患者ファーストの姿勢を崩さない	鳥集
小腸大腸疾患	山本博徳	自治医科大学附属病院	「ダブルバルーン内視鏡」の開発者。決して偉ぶらず、朴訥とした雰囲気を持っている人物	長田
がん化学療法	砂川優	聖マリアンナ医科大学病院	口数は多くないが、質問に丁寧に言葉を選んで答える姿勢から、誠実さと患者を思う気持ちが伝わってくる	長田
	渡辺亨	浜松オンコロジーセンター	「街角がん診療」を提唱。入院不要の化学療法を実践する腫瘍内科医。落ち着いた語り口で安らぎを与える	長田
消化器疾患全般	久保田芳郎	キッコーマン総合病院	困った時に筆者が相談する消化器外科医。底抜けの明るさと横溢するサービス精神で、誰からも愛される	長田
呼吸器内科全般	鈴木夕子	網走厚生病院	「一診療一笑い」を掲げる大阪出身。オホーツク沿岸の漁師と結婚し、嫁ぎ先でも地域の患者を笑わせる	長田
咳喘息・慢性咳嗽	大谷義夫	池袋大谷クリニック	患者の症状の原因解明のため、休診日を患者の自宅の環境調査に充てる熱血漢。メディアでも人気	長田
呼吸器感染症	萩原恵里	神奈川県立循環器呼吸器病センター	落ち着いた対応で深い安心感を与える。丁寧な説明が患者の理解を高め、禁煙外来の成功率も高い	長田

「ブラックペアン」に出てきたロボット手術も、手ブレ防止機能や3Dカメラで術野を立体視できる利点があります。出血のときにロボットアームをすぐ引き抜いて止血できないから危ないという意見もある。

長田 新しい技術に興味を持つとしない先生もいますね。

鳥集 ええ。しかし、医師が自分のしたいことに拘泥しないで、その患者にとって一番いい治療法は何かを考えてくれることが大事なんです。

長田 開腹か腹腔鏡かでいえば、自分では出来なくても部下は勉強して、両方知った上で患者に合った治療を選んでくれる医師がいい。

鳥集 診察をして腹腔鏡手術は向かないと思ったら、医者には「あなたの場合は開腹手術をした方がいい」と患者を説得できないといけない。自分の哲学をしっかりと持っている医者であれば、それは決して難しく

はないと思います。

治療後のことも考えて

長田 がんも治せるケースが増えたことで、医師には、患者が治った後のことまで考えることが求められるようになりました。これも患者の立場になって考えるという「人間力」の一つですが、特に女性患者への治療はそういうことが多いですね。

鳥集 乳房再建の手術などがそうですね。仕上げに繊細さが求められる。矢永クリニックの矢永博子さんやプレストサーージャリークリニックの岩平佳子さんはその先駆者で、十数年前から、再建したとは思えないほど綺麗な手術で評判でした。

高齢の乳がん患者に対して、男性は「もう乳房がなくなっちゃっていいじゃないか」と思いがちです。しかし、岩平さんにかがうと、七十歳を超

えた方でも、おっぱいが無いのがつらくて、手術を希望する患者さんがいるそうです。また、乳房の位置がズレていたり、乳房の一部がへこむなど仕上げが雑だと、女性は悲しくなる。その気持ちは、女医だからこそわかるのでしょう。

長田 男性医師でも繊細な感覚の持ち主はいますよ。順天堂医院形成外科の水野博司さんは乳房再建の最後の微調整のときに患者を座らせるんです。そして乳房が垂れたところを遠くから見ても、細かく調整していく。もちろん、命が助かるのが最優先事項ではあるのですが、助かったら、その後の人生は長い。そこまで考えるのも「人間力」と言える。

女性医師の治療は概して丁寧と言われます。手術でしっかり傷口が隠れるように縫うなど仕上がりを考えている先生が多いように感じます。埼玉協同病院整形外科の桑沢綾乃さ

専門分野	名前	所属	推薦コメント	選者
神経疾患・頭痛	福内靖男	福内ペインクリニック	元慶應大学医学部神経内科教授だが、その肩書をひけらかさず地域医療に取り組む姿は、まさに人格者	長田
ウイルス性肝障害	市田隆文	湘南東部総合病院	元順天堂大学静岡病院教授。専門は肝臓内科。話術に長け、患者の深い理解を得る説明が得意な紳士	長田
血液疾患	鈴木憲史	日本赤十字社医療センター	患者はもちろん同業者や若手医師からの信頼が厚い。白血病治療の、日本における第一人者	長田
糖尿病	堀田鏡	中部ろうさい病院	糖尿病治療の第一人者。口跡爽やかな語り口と親しみやすい笑顔で、患者の不安を取り除く	長田
間質性肺炎	宮崎泰成	東京医科歯科大学医学部附属病院	過敏性肺炎や間質性肺炎、睡眠時無呼吸症の診断と治療に高い専門性を発揮。柔和な笑顔が印象的	長田
不整脈	三好俊一郎	三好クリニック	「患者に寄り添う医療」とは、こういう診療姿勢を言うのだろうな、と思わせる、穏やかで優しい循環器内科医	長田
高血圧	桑島巖	東京都健康長寿医療センター	高血圧の専門家でディオバン論文の不正を見抜いた一人。医学界に厳しい姿勢が尊敬できる	鳥集
膠原病	川畑仁人	聖マリアンナ医科大学病院	温厚で腰が低く丁寧な対応。膠原病、関節リウマチに対する個別性を考慮した治療法の標準化に注力する	長田
耳鼻咽喉科全般	山川卓也	山川耳鼻咽喉科医院	都心の患者の多いクリニックにも関わらず、丁寧に診察していく姿が安心感を誘う。小児患者にも人気	長田
	木村百合香	荏原病院	専門は「聴こえ」と「飲み込み」の機能改善。明るく飾らない人柄で、何でも訊ける雰囲気の魅力の女性医師	長田
糖尿病網膜症	石田晋	北海道大学病院	どんな質問にもエビデンスに基づき正確な情報を元に、穏やかに、平易な表現で解説してくれる	長田
屈折矯正	梶田雅義	梶田眼科	遠視信仰の強い日本人に「適正視力」の重要性を訴える屈折調節の専門家。温厚な人柄で支持される	長田
緑内障	平松類	二本松眼科病院	短い時間でいかに効果的に情報を提供するかを目的とした著書多数。眼科だけでなく全身臓器に詳しい	長田
化膿性汗腺炎	林伸和	虎の門病院	痤瘡(にきび)、化膿性汗腺炎治療で高い知名度を持つ皮膚科医。最新の治療法普及に向けた草の根運動を展開	長田
アトピー性皮膚炎	向井秀樹	クオーツメディカルクリニック	元東邦大学皮膚科教授。取材の際には必ずレジュメを準備し、精度の高い情報提供に努めてくれる	長田
ストレス障害	山本晴義	横浜労災病院	ストレスに苦しむ人からの無料メール相談に年中無休で対応。18年間で10万件超の悩みに答えてきた	長田
女性医療	関口由紀	女性医療クリニック・LUNAグループ	女性医療に特化した専門クリニックを運営。女性特有の悩みに、高い専門性と気さくな性格で対応する	長田

んは、ひぎの関節手術の症例数が日本で四番目、しかも「綺麗な手術をする」と医師の間でも評判です。

鳥集 約百三十万人の高齢入院患者のデータを解析した、カリフォルニア大学ロサンゼルス校助教授の津川友介さんの研究(二〇一六年)では、「女性医師のほうが男性医師よりも患者の死亡率や再入院率が低い」ことが明らかになっています。

医師のリトマス試験紙

長田 それからセカンドオピニオンに否定的な態度を示す医師は「人間力」が低いと思ってい。患者の意志を尊重する先生なら、頭ごなしに否定することは絶対でない。

鳥集 セカンドオピニオンの重要性が叫ばれるようになった二十年前は批判的な医者も多かったですね。

長田 私が取材した中でも「セカ

ンドオピニオンを取るなら、そっちの先生に代わってもらおう」という医師が二人ほどもいました。

鳥集 それは少ないですね。本音で聞いたら、セカンドオピニオンに否定的な医者は、もっというのではないのでしょうか。

長田 それはそうかもしれませんが、ただ、そのうちの一人はかなり有名な医師だったので、この先生がそんなこと言うんだと驚きました。

鳥集 それは患者さん本人にそう言ってしまうんですか。

長田 そうです。「私のことを信頼していないなら戻ってこなくて結構」と直接患者にハッキリ言う。

鳥集 なかなか過激ですね。このリストに挙げた先生はセカンドオピニオンを尊重する人が多いと思いますが、それは自分の診断や治療を他の医者に見られても恥ずかしくないという、自信の裏返しなんです。

長田 ちゃんとした医師は、「別の医師から違う意見が出るのが勉強になる」と言いますからね。

鳥集 セカンドオピニオンを申し出た途端に、その医者の顔が曇ったら、自信がないのかもしれない。セカンドオピニオンを申し出て、快くOKしてくれるかどうかは、一種のリトマス試験紙だと思います。

長田 嫌だと言うなら、最初からその先生にかかるべきではなかったと思うべきですよ。

鳥集 ただ、患者の側が注意すべきこととして、自分が欲しい答えを求めるためにセカンドオピニオンを繰り返すのは止めたほうがいいですね。例えば本当は乳房を切除した方がいいのに、どうしても残したくて、「残せませう」という答えを言ってもらうまでドクターショッピングするのはよくない。二、三人の医師が同じ答えなら、それを受け入れ

専門分野	名前	所属	推薦コメント	選者
総合内科	黒須讓	プライマリーケア 東京クリニック	アメリカ仕込みの「ホームドクター」技術を日本で展開。対話を重視し、患者の希望に沿った治療計画を立てる	長田
	徳田安春	群星沖縄臨床 研修センター	過剰な医療に警鐘を鳴らす「Choosing Wisely」運動の指導者の一人で、研修医の教育者としても著名	鳥集
	名郷直樹	武蔵国分寺公園 クリニック	EBMの実践家として名高い。多くの著作で、「過剰な医療」の問題点を指摘している	鳥集
	野村英樹	金沢大学附属病院	EBMの専門家であるだけでなく、医師に対するプロフェッショナリズム(職業倫理)教育にも取り組む	鳥集
在宅ケア	白髭豊	白髭内科医院	長崎市の在宅医療を支える「長崎在宅Dr.ネット」事務局長。訪問診療で患者や家族に慕われている	鳥集
	鈴木央	鈴木内科医院	初期診療から在宅での看取りまで対応する現代の赤ひげ先生。自転車に往診カバンを乗せて、町を走り回る	長田
	高瀬義昌	たかせクリニック	東京の下町で認知症患者などの在宅医療を実践。とにかく明るく、楽しく、患者と目線で接する	鳥集
	長尾和宏	長尾クリニック	多数の著書で、過剰な医療や在宅医療の現状に警鐘を鳴らす。関西人らしい親しみやすい人柄	鳥集
	松尾英男	えびす英クリニック	恵比寿を拠点に在宅診療を展開。小さな異変を軽視しない丁寧な診療は、連携する他科の医師にも高評価	長田
緩和ケア	大津秀一	早期緩和ケア 大津秀一クリニック	緩和ケアや終末期医療の著書多数。若いにもかかわらず、患者の生死に真摯に向き合っている	鳥集
	萬田緑平	緩和ケア 萬田診療所	大学病院の非人間的な医療に疑問を持ち、外科医から転身。地域で在宅医療を実践している	鳥集

長田 “人間力”のある名医に出会うために、患者の側は何が出来るか知りたい人も多いと思います。

鳥集 リストに挙げた医者があるような立派な病院は、一般人は診てくれないのではないかと思う読者がいるかもしれませんが、そんなことはありません。むしろ「来るもの拒まず」という先生が多いです。

患者の側でできること

長田 退院したら地域の先生に手紙を書いて、治療経過を報告する。そうすれば紹介する側の先生としても安心して患者を託すことができるわけです。ただでさえ忙しい中、手紙まで書いて大変だと思いますが、これも“人間力”の一つですね。

るのが合理的だと考えた方がいい。

長田 私は“人間力”を測る上で、もう一つ大事だと思う点があります……。

鳥集 何ですか。

長田 仕事熱心さ。

鳥集 それは言えますね。名医と呼ばれる人にはワーカホリックが多い。患者のためにわが身と時間を惜しまず、という医師はけっこういます。例えば東京医科大学脳神経外科の河野道宏さんは、手術をしたらその夜に必ず患者の病室を訪ねると話していました。理由をたずねると、「手術した医師が病室にきて、具合はどうですかと声をかけただけでも安心すると思うんです」と。手術して「ハイ終わり」ではない。

いま、医者の過重労働が問題になっていますが、このリストに挙げた先生方は猛烈に忙しくてもどこかそれが楽しそうなんですよね。長田さ

んは、広島大学病院の岡田さんに取材するときって、朝一番のことが多いですね。岡田先生の取材の時は、大体前泊しています。

鳥集 なぜかというところ、教授室で寝泊りしていることがあるからです。月曜から金曜まで働き、土日も学会に出席して休みがない。ある先生に「そんなに働いて楽しいですか」と聞いたら、「とにかくこの仕事が好きで休むんですか？」と聞いたら、「学会に行くときの飛行機の中で寝るのが楽しみなんだ」と言っていた。

長田 東大病院の瀬戸さんも似ていますね。瀬戸さんの専門の食道がんの手術は長くて、七時間ぐらいかかるんです。だから毎日夕方まで手術か外来があり、学会の集まりがあれば夕方から外に出て、十時ぐらい

に戻ってきて事務作業。十二時に帰宅して、朝六時にはまた大学へ向かう。毎日、仕事しかしていない。

瀬戸さんが唯一ぐっすり眠れるのは手術のあと。患者の麻酔が覚めるまでの五分か十分、手術室の地べたに寝そべって眠るそうです。「それが至福の時なんです」と(笑)。

こういった仕事熱心な先生方は症例数も自然と増えていく。だから名医ランキングの常連にもなる。

鳥集 数をこなさないと一定のレベルを維持できないし、患者がある程度いないと、若い医師も育たないですからね。順天堂医院の鈴木健司さんは、肺がん手術のスペシャリストですが、国立がんセンターから移った直後は患者を集めるため講演会を開き、地域の医師たちに「うちではこんな手術ができます」と呼びかけたんだそうです。そして送って帰った患者をしっかりと治療して帰し

国立国際医療研究センター病院の
國土典宏さんは、肝臓外科のパイオ
ニアである幕内雅敏さん（元日赤医
療センター院長）の後を継いで東京
大学肝胆膵外科の教授になった方
です。いま大病院の理事長だから診
てもらえないのかと思いきや、ご本
人にお会いしたら「まだ手術したい
ので、ぜひ患者さんは来てくださ
いと書いておいて」と頼まれました。

長田 大病院や高機能病院の特
定の医師に診てもらいたいときは、
かかりつけ医からの紹介状の封筒に
その医師の名前を書いてもらうこと
が大事です。たとえ忙しい先生で
も、宛名がある紹介状は、一度はそ
の先生のところが届きます。ただ
し、実際に手術をするのはその先生
とは限りませんが……。

鳥集 こんな例もありました。知
人に紹介を頼まれて県立静岡がんセ
ンターの平嶋泰之さんにメールを出

したら、「メールでは医師として責
任のある答えはできないので、セカ
ンドオピニオン外来に申し込んで来
てください。いつでもお受けいたし
ます」と返事をくれた。実際に病院
の窓口で申し込んだら、あまり待た
ずに平嶋さんに診てもらうことがで
きたそうです。有名病院も敷居は意
外に低い。

長田 僕の基本的な考え方として
は、いわゆる“神の手”でないとい
せない病気はそう多くない。それよ
りも“普通の医療”を丁寧に実践し
てくれる医師を近くで探し、大切に
するべきだと思っています。そうす
れば、本当に“神の手”が必要な時
には、速やかに紹介してもらえら
る。

鳥集 最後に強調しておきたいの
は、このリストに挙げた先生たちに
絶対に診てもらわなければならない
わけではないことです。いまの主治
医の診断や治療に疑問があるとき

に、このリストの医師にセカンドオ
ピニオンを聞きに行くといいかもし
れない。読者の皆さんには、そのた
めの情報源の一つだと受け取ってい
ただけるとありがたいです。

長田 ある先生が「医師と患者の
関係は恋愛と一緒だ」と言っていま
した。リストに載っている先生の
“人間力”は間違いないと思います
が、それでも相性が合わないことは
あり得るし、そんな時は先生も同じ
ように思っているものです。世間で
名医といわれる先生でも、「相性が
悪いな」と感じたらその医師に固執
しないほうがいい。

鳥集 もしかししたら命を託すこと
になるかもしれないわけです。技量
だけでなく“人間力”を重視して選
ぶことも大事。いまはだんだん患者
ファーストの時代になっている。嫌
な先生だけが我慢するなんて、もは
やそんな時代ではありません。